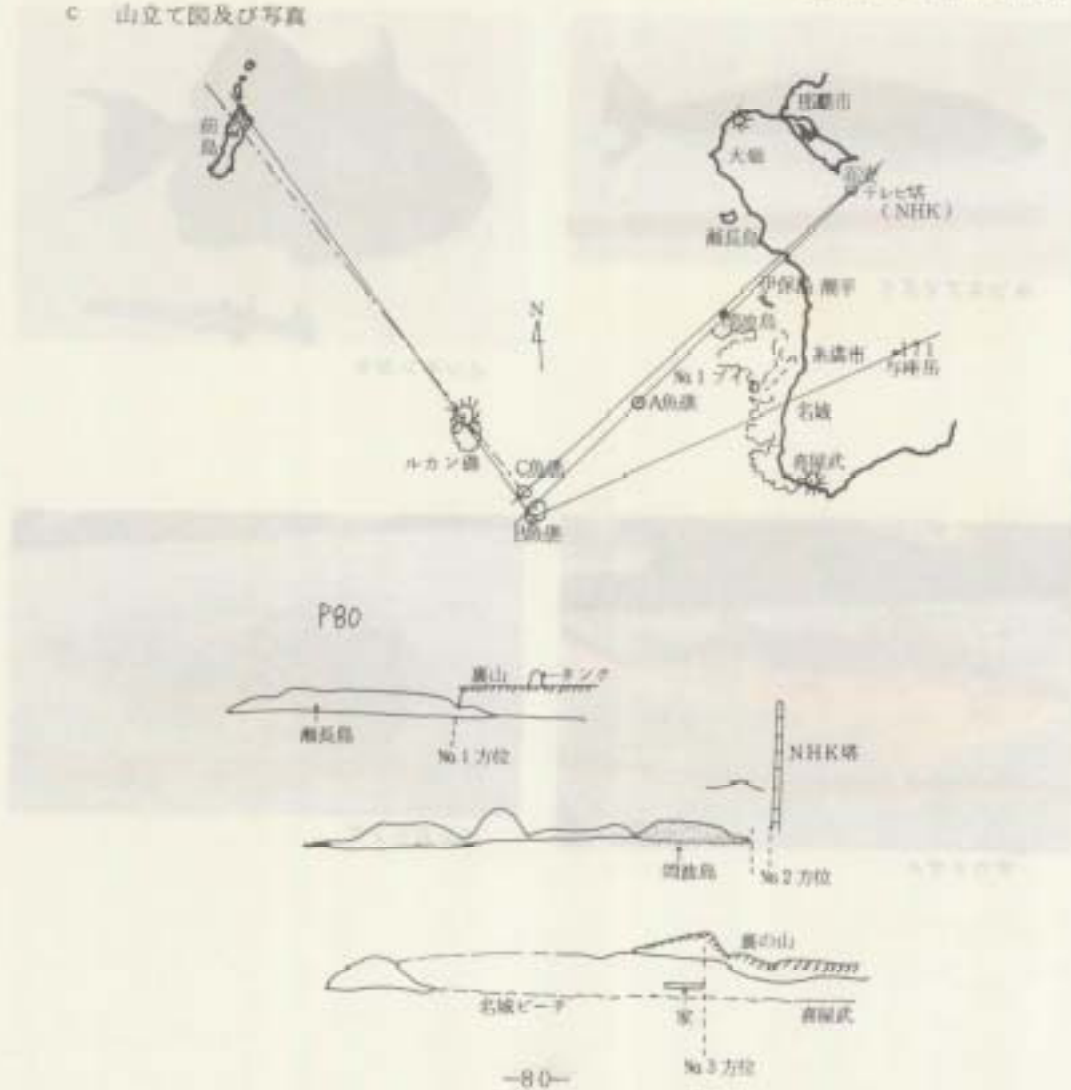


糸満地区大型魚礁調査

糸満沖A魚礁調査

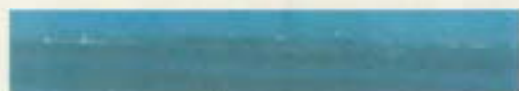
1. 設置年度……昭和52年度（昭和53年2月竣工）
2. 設置個数……1,258個
3. 設置場所
 - a. 設置場所……① 喜屋武崎より真方位300度、400m 水深62m
 - ② 糸満港入口センターブイ（No1）よりルカン礁灯台を船首よりやや右に見て約2.6海里の地点
 Lot 26°-06'-24"N Long 127°-36'-13"E
 - b. 山立て方法……① 相長島東端の下りと裏山（米軍PX前）の先が一線になる。
 - ② 間波島の右端（南端）より高安のNHKの電波塔が多少隠れる程度。
 - c. 山立て図及び写真





① 那覇空港方面

新長島↑



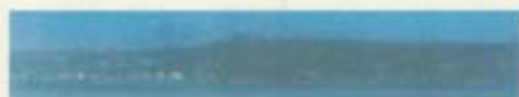
②

新長島



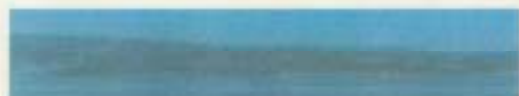
③

阿波島 ↑ NHK放送塔



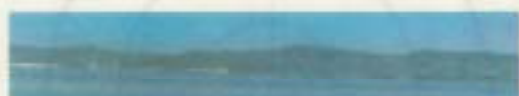
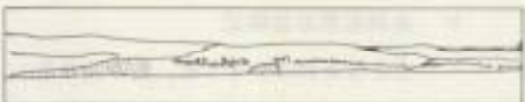
④

↑ 与座岳 ↑ 阿波アンテナ(自衛隊)



⑤

名城ビーチ ↑ 摩文の平和記念堂



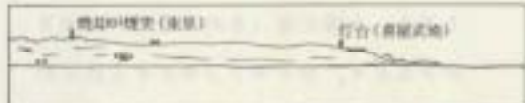
⑥

喜屋武部落



⑦ 喜屋武方面

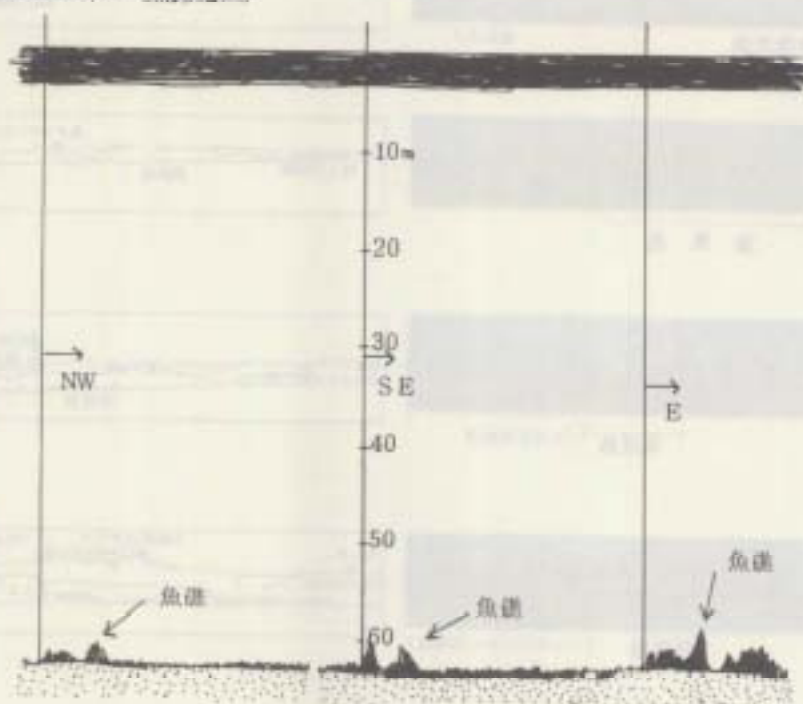
喜屋武打合



↑ 高台の上(主要)の戦没者慰霊↑
喜屋武打合

4. 魚礁の設置状況

a 魚礁設置断面 (魚獲記録)



b 魚礁配置形態模式

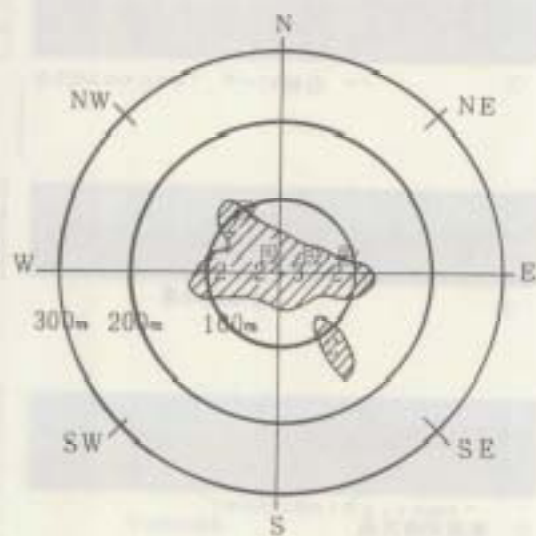
広さは東西に240m、高さは3段(4.5m)積みが高くは2段積みが多い。

5. 魚礁効果確認調査

設置4ヶ月後の糸満市の調査では昼釣りでカワハギ(種不明)主体(15~18cm 150g内外)で釣獲され、7ヶ月後の水試(くろしお)の調査では昼はサザミダイ、主体に夜(8時~9時)はコスジフエダイ、ロクセンフエダイ主体に釣獲され、特に1本釣マチ釣針20号(1人は5本付)で1時間にコスジフエダイ

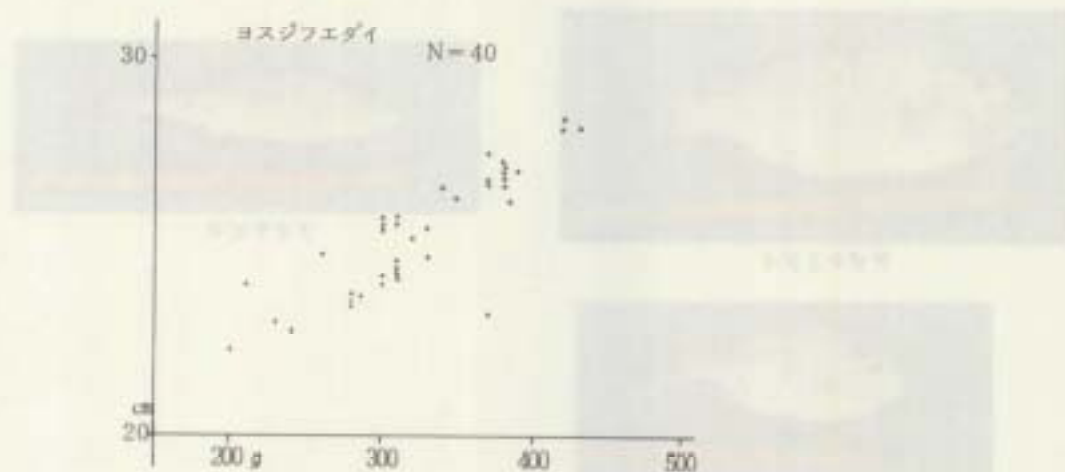
62尾、ロクセンフエダイ18尾、キスジタルミ1尾、ヤマトカマス1尾、計82尾が釣獲され、5本付けの釣針に6尾も釣獲された。殆んどメスで熟卵を持ち、アミを食していた。魚礁効果は相当あり、今後大いに期待できる。

次の表、写真で調査状況を示す。また次図でコスジフエダイの体長、体重関係を示す。



糸満沖大型A魚種調査

調査年度	53				合計	
報告者	水試		漁業者			
調査月日	9/28、29		53年6/29、11/17 54年2/25			
調査船舶	くらしお					
調査員	7人		糸満市			
調査漁具	1本釣		1本釣			
調査回数	2		3		5	
魚獲量	27.9kg		3.5kg		31.6kg	
尾数	89		35		124	
魚種	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量
サザナミダイ	4	34			4	34
アオチビキ	1	0.4			1	0.4
メガネハギ	1	0.2			1	0.2
ヤマトカマス	1	0.7			1	0.7
キスジケルミ	1	0.3			1	0.3
ヨスジフエダイ	62	17.0			62	17.0
ロクセンフエダイ	18	5.9			18	5.9
シロダイ			5	0.9	5	0.9
ペラハタ			1	1.1	1	1.1
ユカタハタ			2	0.2	2	0.2
カワハギ			27	1.3	27	1.3
メイチダイ	1	0.2			1	0.2



糸満沖A魚礁調査(写真)



ヨスジフェダイ、ロクセンフェダイ、メイチダイ、
サザナミダイ、ヤマトカマス、キスジタルミ
(昭和53年9月29日 20時~21時)



ヨスジフェダイ



ロクセンフェダイ



ヨスジフェダイ (♀ 熟す アミを食す)
キスジタルミ (♂ 熟す アミを食す)



ヤマトカマス



キスジタルミ



サザナミダイ



アオチビキ



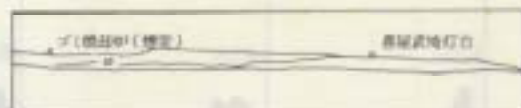
メイチダイ

II 糸満沖B魚礁調査

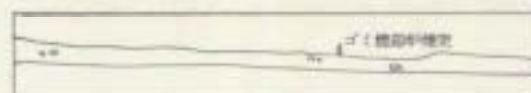
1. 設置年度……昭和53年度（竣工 昭和53年11月）
2. 設置個数……1,395個
3. 設置場所
 - a 設置場所……喜屋武埼より真方位264度9850m 水深73m
 Lat 26°-04'-06"N Long 127°-33'-42"E（中央礁の位置）
 この位置から北々東よりに約180mのところに離れ礁がある。
 - b 山立て方法……① ルカン礁灯台が喜屋敷村前島とその先の中島の間に来る。
 ② 与座岳のタンクが名城とエーギナ島の間になる。
 ③ NHK（高安の）塔が間波島の南東側をやや離れて見える。
 - c 山立て写真……この写真は中央礁の写真である。



① 喜屋武方面 白いのは喜屋武灯台！



② 喜屋武部港



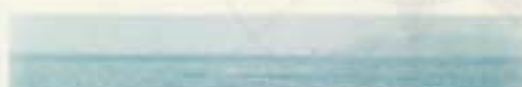
③ 与座岳のタンク ↑



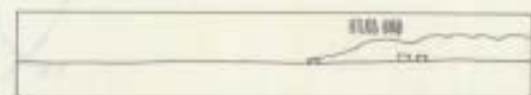
④ 間波島、NHKの電波塔



⑤ 前島 ルカン礁灯台 ↑ 中島 前島 ↑



⑥ 前島南側 ↑ ルカン礁の灯台の影が！

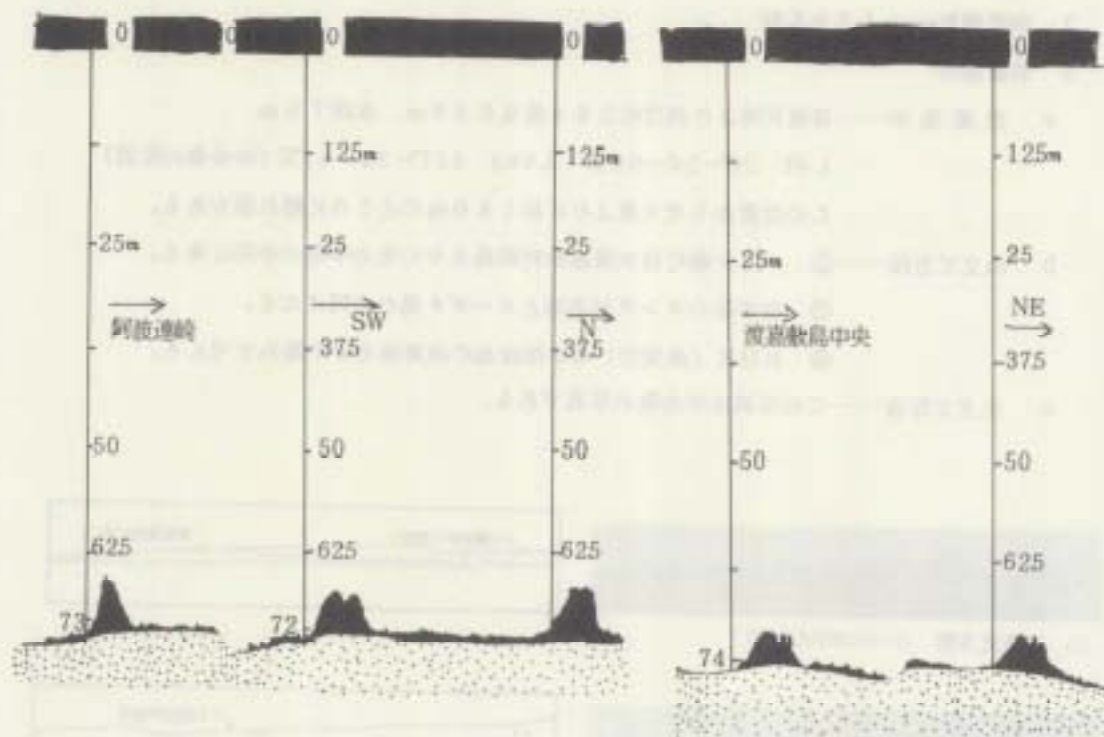


4. 魚礁の設置状況

宮城県漁業試験場

a 魚礁設置断面 (魚探記録)

静れ礁



b 魚礁配置形態模式

比較的集中して入れられ主礁で5段積み(7m) 最長150mである。主礁から北北東よりには離れ礁が3段(4m)積みで最長50mの大きさで投下されている。



5. 魚獲効果確認調査

設置2ヶ月後の糸満漁協青年部の調査（委託）では、1本釣り（釣針19号）（5人）で昼間3時間操業でシマハタ1尾、メガネハギ1尾であった。

3ヶ月後では、1本釣り（釣針12号）底延縄（釣針22号）で昼間約5時間の操業（底延縄2回）でメイチダイ1尾、タカサゴヒメジ1尾、ツバクロエイ1尾、計3尾2.4kgであった。

次に調査結果を表と写真で示す。

糸満B大型魚網調査

調査年度		53		
報告者	水 試		漁 業 者	
調査年月日	54年1/21、2/22			
調査船舶				
調査員	糸満漁協青年部			
調査漁具	1本釣り 底延縄			
調査回数	2			
漁獲量	3.1kg			
尾数	5			
魚 種	尾 数	重 量	尾 数	重 量
シモフリハタ			1	0.4
カワハギ			1	0.3
メイチダイ			1	0.3
タカサゴヒメジ			1	0.2
ツバクロエイ			1	1.9



シマハタ (54.1.21)



シマハタ、メガネハギ (54.1.21)



1本釣り、底延縄漁具と漁獲物 (54.2.22)
(メイチダイ、ツバクロエイ、タカサゴヒメジ)

III 糸満沖C魚礁調査

糸満沖C魚礁調査報告書

1. 設置年度……昭和53年度（昭和54年3月末竣工）
2. 設置個数……1,038個
3. 設置場所
 - a. 設置場所……喜屋武崎より真方位269度10.100m
 Lat 26°04'33"N Long 127°33'30"E
 - b. 山立て方法……① ルカン燈台が前島の132mの山と前島北端の丁度中間に見える。
 ② 間波島の北西端と高安のNHK電波塔が一線になる。
 - c. 山立て写真……この写真は設置前のブイ（投入位置標識）の位置の写真である。



① 向うは前島



② NHKの電波塔と間波島

